2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	神経病態生理学Ⅰ研究	菱川 朋人

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）脳卒中の病態と外科的治療方法の合併症を理解する。
（2）神経病態生理の基礎を理解する。
（3）英語論文を抄読し，理解する。
（4）統計の意義を理解し，統計学の基礎を説明できる。

授業到達目標

（1）神経病態生理の基礎を研究報告会で説明できる。
（2）統計の有意差やその意義を説明できる。
（3）英語論文を４年間で２編以上作成できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月～金	8:00～8:30	菱川 朋人	脳卒中の病態と治療について
毎週	木	13:00～15:00	菱川 朋人	脳卒中の病態と治療について
毎週	火	13:30～14:30	井上　智	研究の立て方、統計解析の仕方について
毎週	火	16:30～17:00	平井　聡	英語論文の読み方・書き方について

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）ひと月ごとの研究成果の報告に対して，指導・助言を行う。
（2）中間発表の抄録作成時に指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784765316675, 脳神経外科学, 太田富雄総編集 ; 川原信隆 [ほか] 編集, 金芳堂, 2016

参考書

ISBN-9784877942106, 脳卒中治療ガイドライン, 篠原幸人 [ほか] 編集, [脳卒中合同ガイドライン委員会], 2003

準備学習（予習・復習等）

（1）実習前に，教科書・参考書等を読み，約１時間程度の予習を行う。
（2）毎週，履修手帳に研究計画・内容を簡潔に記載する。
（3）研究終了後，その日のうちにデータを記録し，月１回指導者に提出する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）卓越した研究成果をあげ，神経病態生理学の深い学識を獲得する。
（2）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につける。

注意事項・メッセージ

（1）大学院生として，神経病態生理学の勉強，実験に熱心に取り組んで下さい。
（2）今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます